

保育者の役割と連携の在り方

(研修俯瞰図 B分野)

主題設定の理由

「教育は人なり」とよくいわれるように、保育における保育者の果たす役割は、たいへん大きなものがある。それだけに、保育者が教職にかけける情熱や使命感、幼児理解にもとづいた指導技術等、保育者の質は教育そのものを大きく左右する。

幼稚園は幼児期にふさわしい教育の場であってほしいという願いは、いつの時代でも誰もがもっている願いである。幼児が幼稚園生活を通して、一人一人発達に必要な経験を自ら積み重ねていけるように、保育者は幼児の日々の生活する姿から、その幼児が何を感じているのか、何に興味をもっているのか、何を実現したいと思っているのか、どのような経験が必要なのかをしっかりとらえ、計画的に環境を構成したり、活動の場面に応じて指導や援助したりすることが必要である。一人一人を信頼し、ありのままを受け止める保育者のまなざしにより、幼児の内面をよく理解し、心の動きに応じ、一人一人の良さを生かすことが保育者に課せられた役割であるといえる。

このように、幼児期にふさわしい教育の場として教育内容を充実させるために、保育者がお互いの共通理解にもとづき役割を分担することが重要である。

各園には、経験年数の異なる保育者が存在し、組織体として機能している。新任保育者は日々の保育を計画し、実践することや自己評価、幼児理解等学ぶことがたいへん多いものである。

また、中堅保育者は、教育課程を具体化したり、保育を評価し、指導計画を改善したり、意欲の向上をはかったり、初任者とは別の意味でたいへん仕事が多いものであるが、指導的な役割を担う立場にもあるので、園長や教頭、主任の指導のもと、保育者間の共通理解を図っていく重要な役割がある。初任者とベテランの間にあって、おのおのその役割を調整したり、分担したりと連携の中心的な役割を果たすことが期待されているのである。

ちなみに、園長・教頭の役割としては、園の保育の根幹となる教育課程の編成や日々の保育活動の評価、指導方法の改善、保育内容の改善、子育ての支援への対応、危機管理に関する対応、園内研修の在り方等の検討があげられると考えるが、お互いが与えられた立場にあって、職務を分担し、連携しながら園としての教育機能を充実させていくことが大切である。

なお、私立幼稚園にとって、新任の保育者の育成は重要な課題であるので、少し書き加えると、養成校を卒業して、保育者として採用され保育現場に入った際に、一番戸惑うことは対人関係である場合がほとんどである。子どもとの良い関係を基盤とした保育は、同僚、先輩との関係、さらには保護者との関係に支えられている部分があ

る。奈良県や京都府の古き仏様方をみると、目は半眼に、口は小さく、耳は大きく造られている。これは、外ばかり見て人のアラさがしをしないで、内なる自分を見つけることの大切さを教えている。また、口が小さいのは、いらぬおしゃべりをしないことを、耳が大きいのは人の意見をよく聴くようにと教えられているのである。すばらしい先生である前にすてきな人間、すてきな社会人として、子どもとの関係は当然のこととして、同僚や保護者と良い関係を築いてほしいものである。

私立幼稚園は、公的な性格を有する学校であるので、幼稚園教育要領を理解することはたいへん重要である。「まず、自園の教育ありき」といった独善に陥らないよう、教育要領の理解を深めるための園内研修や話し合いの場を持つことにより、共通理解をはかり、日々の保育活動の根拠とできるような体制が望まれる。

幼稚園幼児指導要録の取り扱いについては、小学校の教育に引き継ぐ重要な情報であるとともに幼少期における重要な個人情報でもあるので、記入の仕方、表現方法などには十分配慮すると同時に全教職員が責任を持って管理すべきものである。

【研究の手がかり】

子ども一人一人の生活があるがままに受け入れ、子ども一人一人の内面の理解と信頼関係を築きながら、発達に必要な経験を子ども自ら獲得していけるように援助していける力を身に付けるためには、日々の保育の中でそれを実践し、実践を記録し、振り返り、保育者集団で検討して協議を重ねることの研修の積み重ねが大切である。

幼児が自ら活動し、学ぶための環境構成について

一人一人の幼児の内面の育ちの理解とその対応について

幼児の日々の生活する姿から、指導計画を立てる

保育者の援助と指導の在り方について

保育の振り返りと自己評価について

教育要領の理解を深めるための園内研修や話し合いの場を持って、共通理解をし、日々の保育活動の根拠とする

指導要録は、個人情報であるだけに記述の仕方、ことば使い、管理について園内で共通理解を深める

(分科会等テーマ群)

クラス運営の課題を考える

保育者の連携を生かした保育と評価

自園の特色や方針を生かす保育や行事を見直す

園の課題にもとづく研修の在り方

教育要領の理解と保育実践

指導要録の作成と管理

望ましい社会人として学ぶべきマナーとは

各地区独自の課題